

ユニーク対談 比較男類学

桐島洋子



桐島洋子（きりしま ようこ）

1937年，東京生まれ。都立駒場高校卒。56～64年まで文藝春秋勤務。後，フリーのルポライターとして活躍。「淋しいアメリカ人」にて第三回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。著書に「淋しいアメリカ人」「マザー・グースと三匹の子豚たち」「風の置手紙一渚と濁と蛇へ」「女ざかりの美学」「聡明な女性には料理がうまい」「さよならなんてこわくない」など他多数。

ユニーク対談 比較男類学

定価九八〇円

一九八〇年四月一日 初版発行

一九八〇年四月一〇日 再版発行

著者 桐島 洋子

発行人 宮越 茂夫

発行所 日本交通公社出版事業局

東京都千代田区神田鍛冶町三ノ三

編集部電話 二五七—八三六五

図書のご注文は

交通公社出版販売センター

電話 〇三—二五八—〇九九八

印刷所 交通印刷株式会社

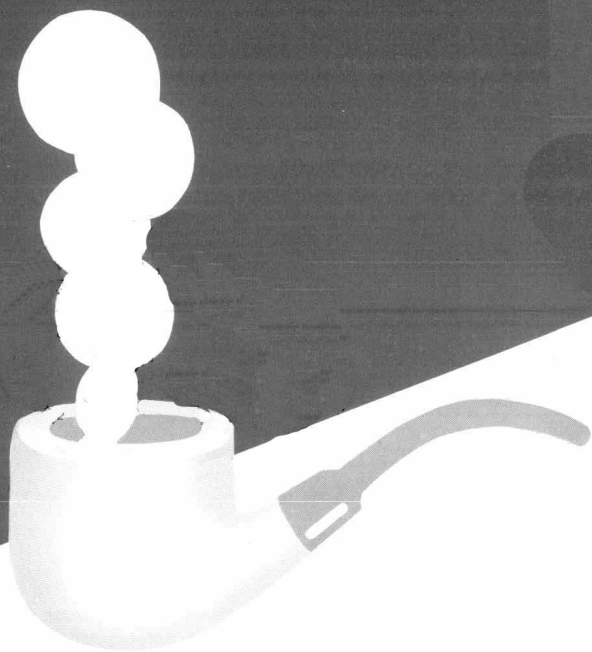
□落丁・乱丁はお取替えます

◎ 桐島洋子 1980 54—340

0095—803070—5847

ユニーク対談 **比較男類学**

桐島洋子



ユニーク対談 比較男類学／目次

鉄仮面の素顔はパイロット!?

有馬 徹

7

独り、華麗に蝶の世界に遊ぶ

五十嵐 遼

31

たまごの王様の得意料理はオムレツ

寺村 輝夫

55

モンチッチの仕掛人あらわる

関口 晃市

79

ギネス・ブックを書き替えた男

大内 三郎

103

アメリカではひたすら清かった!?

田中小実昌

127

ピサの斜塔よ、オマエを抱き止めてみせる！ 中西 渉 145

ギャンブル必勝法教えます 山口 浩 169

紙の力士が相手を“投げる”!? 徳川義幸 191

空手の達人はアリより強い？ 高森真士 217

ギターを忘れて、カルメン一筋！ 中林淳真 241

足相を見ればピタリとあたる 平沢彌一郎 265

ブックデザイン
秋山 育
本文中イラスト
村上 豊

鉄仮面の素顔はパイロット!?



有馬
徹



ありま とおる

一九二七年、鹿児島生まれ。
早大卒。早大在学中に「早大
タンゴ・アンサンブル」、卒
業後は「オルケスタティピカ
東京」を経て、五四年、「ノ
ーチェ・クバーナ」結成、現
在に到る。一方、パイロット
としても知られ、アマチュア
では世界有数のライセンス保
持者。飛行時間は四〇〇〇時
間。

桐島 今日は指揮棒じゃなくて、操縦桿の方の話を伺いたいと思いますけど、最近また大変な飛行をなさったそうですね。

有馬 ブラジルのサンパウロから東京まで、飛行機を運んできたんです。

桐島 なんていう飛行機ですか。

有馬 国産の飛行機、YS11。十年前に日本航空機製造というYS11を造った会社が、ブラジルのバリグ(VARIG)という国際線の会社とバスピ(BASPI)という国内線の会社に六、七機売ったんですね。それで、十年間「サムライ号」という名前でブラジル国内を飛んでたんですよ。ところが、今度その中古機を日本のある会社が必要になりましたって買い戻したわけ。

桐島 国産機を、ですか。飛行機って、はるばる買い戻しても引き合うものなんですか。中古機なんて日本にたくさんあるでしょうに。

有馬 ないですよ。現在、東亜国内が三八機、全日空が二九機、南西航空が八機、それに航空局、防衛庁、海上保安庁などに一〇機ぐらいあるでしょう。だけど、全部使用中。それにYSは一八二機造って昭和四十八年に製造中止して、今はYXという純ジェットのも

設計をしているところです。

桐島 製造中止で稀少価値が出てきたわけね。

有馬 そういうことです。

桐島 その貴重なYS11を、どういうコースで日本まで運んでらしたわけですか。

有馬 まず、サンパウロからブラジル東端の町レシフェへ行きます。

桐島 レシフェなんて聞いたこともない町ですね。

有馬 ここは素晴らしい町ですよ。ブラジルというのは、昔ポルトガル人が占領した国でしょ。大西洋を渡ってきた西洋人が、だいたいあの辺に上陸したんじゃないかと思うのね。だから、レシフェなんてリオ・デ・ジャネイロのコパカバーナの海岸なんかより、欧州的なとてもいい町です。日本人はあまり行かないですよ。で、そこが、南米で一番大西洋に突き出た町だから、レシフェから大西洋をセネガルのダカールまで飛べば最短距離になるでしょう。

桐島 それにしてもずいぶん距離がありますね。

有馬 これ、三二〇〇キロ。

桐島 航続距離はどのくらいあるんでしょう、YS11は。

有馬 本体のタンクだけですと、五時間二〇分ね。だから、大西洋は渡れないわけですよ。どうするかというと、写真を持ってきましたから御覧ください。

桐島 なるほど、燃料タンクを客席にも造っちゃうわけですか。

有馬 そうやって座席を全部外して、六〇人乗りの飛行機ですから、同じだけの容量の

燃料を積むわけ。タンク一つが六〇〇ガロンで、三つ積んで一八〇〇ガロン。それに本体の一〇〇〇ガロンで合計二八〇〇ガロン。そうすると一三時間飛べるわけね。

桐島　なんか、空飛ぶタンク・ローリーっていう感じね。(笑)で、満タンで大西洋を飛んでダカールからはどういうコースを？

有馬　カメルーンのドアラ、ケニヤのナイロビとアフリカ大陸を横断して、インド洋のセイシエル島、スリランカのコロンボ、そしてクアラルンプール、マニラ経由で東京です。

桐島　全行程は何キロですか。

有馬　二万五〇〇〇キロ。二月三日にサンパウロを発って、東京に着いたのは十四日でした。

桐島　それをお一人で飛ばれたんですか。

有馬　いやいや。飛行機っていうのは、何でも分業なんですよ。操縦にしても二人のパイロットがいて、各々違うことをやるわけ、上がる時も、下る時も。それに、パイロットなんていうものは、飛ばすことは出来てもあとは駄目なのね。僕だって、YSがどこか故障したとするでしょ、全然直せない。どこが悪いんだかわからないわけ。小さい四人乗りのならわかりますよ。でも、YSみたいに大きくなるともうお手上げですね。

桐島　なんだか飛行機に乗るのが恐くなったわ。(笑)ところで、その空送料とか空輸料というのか、それはいくらぐらいかかるんですか。

有馬　それは儲かりすぎちゃうから、税務署に知られるとまずいんだな(笑)だいた

い、今回の私は私が引き受けたんじゃないのね。輸送屋さんの会社があるんです。その社長が僕の友人で、それで頼まれたわけ。僕みたいに、免許はあるけど遊んでいるのはいないでしょう。

桐島 有馬さんだってお忙しいじゃないですか。

有馬 じゃあね、言い方を変えると、安く行ってくれる人。(笑) 僕もやりたかったんですよ、今度のコースは日本人が初めて飛んだんですから。だから、使う方は安く上がるし、僕も飛びたいし、一挙兩得。

桐島 そりゃそうでしょうけど、その間本職の方は犠牲になるでしょう。

有馬 その間は、僕がいなくてもいいような、ナイト・クラブとかダンス・ホールとかの仕事を受けて、演奏会やテレビなんていうのはやらないのね。そういうのは、僕の「鉄仮面」が出てなくちゃまずいでしょう。(笑)

桐島 今度の飛行は昼間飛べたんですか。

有馬 なるだけ昼間の方がいいですよ、飛ぶのは。だけど、いろんなことがあります、最後の半分はほとんどナイト・フライト。アメリカも全部夜でした。それでね、カメルーンのドアラから真つすぐ中央アフリカを通して、ザイル、ウガンダ経由でケニアに入るつもりだったんですけど、今(79年五月)、アミンさんのウガンダは大変でしょう。

桐島 戦争中ですよ、今。じゃ、ウガンダは入れないわけですか。

有馬 ウガンダを通ろうとしたら、上空通過はいかんというわけですよ。どうしてもいけない、戻れというんです。戻れたって、僕は前に進まなきゃならないですからね。そ

れじゃどうすりゃいいかというと、北へ上がってスーダンを回るか、南に降りてタンザニアね、キリマンジャロの方から迂回するかでしょう。それで、北を回りましよう。真夜中ですよ。

桐島 真夜中の暗い時、そんな簡単に方向変換したり、コースを変えられるんですか。

有馬 なんて夜、下が見えなくても飛べるかという、ラジオ・ビーコンといって電波を出している標識が、あっちこっちにあるわけですよ。その電波に合わせると機体がそっちを向くから、方向がわかる。それで、スーダンの方に回って行ったら、どこの電波も入らないの。困っちゃったですよ。下が見えれば、推測航法とか地文航法が出来るんですけど……。それで、ロスト・ポジションといって、自分の位置がだんだんわかんなくなっちゃった。これは大変なことですよ。降りようたって下が見えないし、何時間もウロウロして燃料が少なくなってくるし……。

桐島 何か映画でも見ているような話ですね。でも、磁石で東西南北ぐらいいはわかるわけでしょう。

有馬 自分の飛んでいる方向はわかりますよ。でも位置がわかんないわけ、だいたいしか。それで、高度を上げたんですね。

桐島 それはどうしてですか。

有馬 燃料を節約するためと遠くからの電波をキャッチするため、それから、不時着するのにも上がっていた方がいいでしょう。あらゆることで、出来るだけ高く上がることがいいことなわけね。それで夜明けまで飛んで、燃料が切れたら不時着しようと思ひし

た、悲壮だね。(笑) そうしたら今度は、向こうの方からピカッと光が見えたんですね、それが明るくなったり、暗くなったりするわけよ。これは飛行機のランニング・ライトだ。ああ、いよいよスクランブルをかけられた。ウガンダのジェット機が来たよ。(笑) それで、こりゃもうだめだ、よし、指示に従おうと思ってね。

桐島 向こうからは何か言ってきたんですか。

有馬 普通なら、まず「俺が見えるか」と言ってきて、見えるなら車輪を降ろせとか翼を振れとか言いますよ。それで、今言われるか、もう指示があるかと待ってたの。

桐島 「有馬徹、ウガンダ空軍に捕まる」なんて新聞の見出しが目の前にチラついたりして？(笑)

有馬 それがね、いつまで経っても近寄ってこないわけよ。変な飛行機だなあ、なんて思ってたね。そうしたらスーッと上がって……。あれ宵の明星って言うんですか。金星だったのね(爆笑)

桐島 それで、今ここで無事に対談してらっしゃると。結局どこかに着陸された？

有馬 燃料が、時間で言えば二時間切ってきたんですよ。いよいよ駄目かなあ、なんて言ってるうちに、ナイロビの電波が入ってきてね。着いた時は燃料が三分ぐらいしか残ってなかった。だから、あと三五分飛んでたらどこかへ不時着してたわけ。こんな経験はじめて。(笑)

桐島 燃料がなくなったら、どうなるんですか。ストンと落ちこちる？ それともグライダー式に降りられるわけですか。

有馬 グライダーなんていうのは、Hがあるでしょう。ソアラという一番滑空能力のあるやつだと、三五Hくらいある。三五Hといったら、一メートルの高度で三五メートル飛んでいくわけですね。YSが七か八Hあると思います、スピードさえあれば。ジェット機は何Hもないから真逆さまに落ちる。でも、平地ならいいですよ、飛んでいたところが。ビクトリア湖のちよつと北は山岳地帯。だから南のサバンナを回っておきゃよかったなんて思ったけど、もう遅いものね。でも、何とか着いてね。

桐島 よろしゅうございました、本当に。そういう時は、こんなことしなきゃよかったって後悔なさいますか。

有馬 ゼンゼン。(笑)

桐島 今、有馬さんは免許はいくつお持ちなんですか。飛行機の免許は機種ごとに違うんですよ。

有馬 機種ごとというのは、自重が五・七トンを超える飛行機の場合ね。それ以下だと、陸上単発、陸上多発の免許を持っていれば、どんな機種でも出来るんです。これは僕も持っていますけど、機種ごとの方はダグラスDC3とYS11だけしか持ってない。だから、ボーイング727を操縦しろといったって出来ないわけ。

桐島 アマチュアでそんなに免許を持っているのは、世界でもエジンバラ公の次だそうですね。